

戦没者追悼式を挙行

第二次世界大戦の終結から70回目の夏を迎えました。

戦後70年の節目に、あらためて先の大戦における本市関係者1,700余名の御霊に対して、追悼の誠を捧げるとともに、ご遺族に対し深い敬意を表し、また、市民挙げて恒久平和を祈念し、8月8日(土)に笠間公民館大ホールにおいて戦没者追悼式を厳かに挙行了しました。

式典では、市長の式辞、来賓の方からの追悼の辞に続き、ご遺族を始め市民参列者約350名が献花を行いました。



式辞を述べる山口市長

戦争体験者講演会

終戦70年の節目の年に、戦争について学び、平和の大切さについて考えるきっかけづくりとして、8月9日(日)に「終戦70年笠間市戦争体験者講演会」を友部公民館大ホールで開催しました。

講演会は、南秀利さんによる基調講演、そして、戦争体験者の村上包一さん、丹順道さん、藤枝義忠さんの3名からそれぞれ戦争中の体験をお話いただきました。

当日は160名の方に参加いただき、参加した方からは、戦争中の話が聞けたことはとても貴重であったなどの声がありました。

友部公民館では、9月30日(水)まで1階ロビーにおいて、「終戦70年笠間市と太平洋戦争資料展」を開催していますので、この機会にぜひご覧ください。

終戦70年笠間市戦争体験者講演会



自らの戦争体験談について講演する丹さん

環境大臣賞を受賞

障がい者の自立支援と、縫製の過程で出た布のはぎれの再利用を兼ねた活動に取り組んでいる森田屋縫製(石井)が、環境と社会に優しい活動を表彰する環境省の「グッドライフアワード2015」で、全国から寄せられた135件のうち、高評価の10件に与えられる環境大臣賞に輝きました。

今回の受賞について、支援事業部責任者の入江勇太さんは、「本当にうれしく、励みになる。不要になってしまったはぎれが、再び繋がって作品となり価値を持つ活動が、障害の有無に関係なく人と人をつなげられたら」と話されていました。



就労支援利用者とスタッフの皆さん

権利擁護講演会を行いました

7月17日(金)に友部公民館で、「成年後見制度」と「詐欺や悪徳商法の手口と実態」についての講演会を開催しました。

当日は、市民や民生委員、市内の介護保険事業所を始め、市外も合わせて86名の参加がありました。

講演会では、「成年後見制度」について法テラス茨城法律事務所の立花朋弁護士から、「詐欺や悪徳商法の手口と実態」について笠間市消費生活センターの工藤孝子相談員から説明を受け、生活の安心を得るための方法について話を聞くことができました。

成年後見制度を利用することや笠間市の特徴的な詐欺被害を学び、トラブルへの対処に役立つとても有意義な講演会となりました。



熱心に聞き入る市民

インターハイ陸上800mで王者に

友部中学校出身で緑岡高校3年の飯島 陸斗^{いひま りくと}さんが全国高校総体（インターハイ）陸上800mで見事優勝し、笠間市長に報告しました。

記録は自らの持つ茨城県高校記録を更新する1分51秒47の好タイムで、昨年10月の日本ユース選手権と合わせて全国大会2つ目のタイトルを手に入れました。

飯島さんは「今後は、日本記録を目指し練習を重ね、5年後の東京五輪出場を目標にがんばっていきたい」と抱負を語ってくれました。

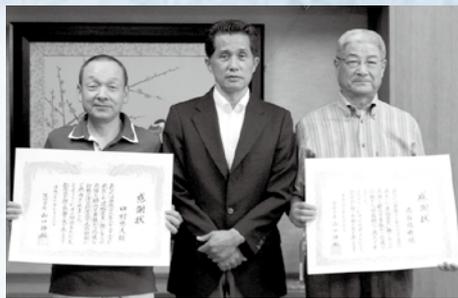


固い握手を交わす山口市長と飯島さん

消防協力者に市から感謝状

2月25日（水）、笠間市泉地内で建物火災を発見した田村 忠夫^{たむら ただお}さんは、迅速かつ適切な初期消火を行い延焼拡大を未然に防ぎました。

さらに、近くの畑で作業をしていた雨谷 俊秀^{あまが いとしひで}さんと2人で、火が消えていない建物内に取り残されていた男性を救出し人命を救いました。この勇気ある行動に対し、笠間市から7月31日（金）に消防協力表彰を行い、山口市長から感謝状が手渡されました。



左から、田村さん、山口市長、雨谷さん

全日本バレーボール小学生大会へ出場

8月12日（水）、13日（木）に、東京体育館をはじめ5会場で開催されたファミマカップ第35回全日本バレーボール小学生大会男女混合の部に、友部バレーボールスポーツ少年団が出場しました。男女混合には42チームがエントリーし13組に分かれ熱戦を繰り広げ、決勝トーナメント進出こそ逃しましたが、予選リーグでは6年生1人、5年生7人、4年生1人、3年生1人の若いチームでありながら勝利も収めました。団長の深澤さんは「全国大会の緊張の中であったが、思いっきりプレーができたことはとてもいい経験となった。」と話されていました。



友部バレーボールスポーツ少年団の皆さん

第15回全国こども陶芸展inかさま 特別賞を受賞

子どもたちに、伝統文化である陶芸を通し、自由な創造力を発揮する場を提供することを目的に毎年開催している「全国こども陶芸展inかさま」が今年で15回を迎え、7月31日（金）に茨城県陶芸美術館において表彰式が行われました。全国から1,319点の応募があり、市内から5名の児童・生徒が特別賞を受賞しました。

A部門（小学1～3年生）

【茨城県知事賞】福野 裕悠^{ふくの ゆたか}さん（笠間小1年）

【笠間日動美術館長賞】塚田 大翔^{つかた やまと}さん（南小3年）

B部門（小学4～6年生）

【茨城工芸会長賞】小貴 美姫^{おぬき みき}さん（笠間小4年）

【笠間焼伝統工芸士会長賞】若井 進太郎^{いわい しんたろう}さん（友部小6年）

C部門（中学生）

【茨城県工業技術センター窯業指導所長賞】鈴木 洋佑^{すずき ようすけ}さん（友部第二中1年）



前列（左から）福野さん、塚田さん
後列（左から）鈴木さん、小貴さん、若井さん

KASAM
TOP
まちの